

保健学研究科

学生保健サポーターが運営する地域高齢者の居場所『群大保健学まちなか交流サロン』

担当学部等 医学部

担当学科等 保健学研究・教育センター地域保健推進室

担当者 佐藤 由美 教授・横山 知行 教授・牛久保 美津子 教授 他

◎事業概要

本事業は、保健学研究科・保健学科の学生教育と地域貢献とを一体的に実施する事業であり、健康長寿社会における高齢者の地域ケア体制づくりに直接・間接的に貢献する。具体的には、次の2つの活動で構成する。

① 学生の保健サポーター養成：地域の高齢者の理解、コミュニケーション技術など、高齢者支援に必要な知識・技術を、段階的に教育する。

② 地域在住高齢者の居場所『群大保健学まちなか交流サロン』の運営：

①で養成した保健サポーターと教員、及び地域の自治会役員や民生委員等が共同で、自治会の公民館等の身近な場所を会場に、高齢者が気軽に集い、健康に関する学習や学生との交流、住民相互の交流を図る会を月一回程度定期開催する。

◎実施事業等

① 学生サポーター養成コース

地域保健推進室に、平成27年度地域貢献事業WG(教員5名にて構成)を設置。学生サポーター養成コースの概要、日程、講師、学生募集方法等について検討した。

10月 学生サポーター養成コース説明会を、各専攻、学年毎に実施し、看護学専攻より、1年生11名、2年生8名、3年生15名、4年生5名、作業療法学専攻より、1年生2名、2年生11名、3年生5名の計57名の参加が得られた。

11月11日:アクティブシニアとは:高齢者の心身特性について(亀ヶ谷助教)

11月25日:ボランティアの魅力(前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター長)

12月2日:動いて学んで仲間づくり(国立赤城青少年交流の家企画指導専門職)

12月9日:聞き上手のコミュニケーション(近藤教授)

12月16日:コミュニケーション・トライアル(上山講師)

2月17日:前橋市と若宮地区ってどんなところ?(前橋市保健師、若宮地区自治会長)

最終日に、参加学生全員に修了証書を授与した。

② まちなか交流サロン

3月2日:学生同士でグループになり、まちなか交流サロンでの内容について検討した。

3月10日:第1回 国領団地集会所(対象 国領町一丁目自治体)

3月18日:第2回 国領町公民館(対象 国領町二丁目自治体)

参加者は、<第1回>地域住民25名、学生14名、教員4名、<第2回>地域住民26名、学生20名、教員4名、前橋市職員5名。

◎期待される成果

① 高齢者がサロンへ参加することを通じ社会参加や自己実現、住民同士の相互交流が図られ、地域高齢者の介護予防やQOL向上の場を提供できる。

② 学生主体の取り組みにより、地域高齢者の理解など early exposureの場として活用することができ、地域保健医療に貢献できる専門職業人教育が実現する。

③ 看護、検査、理学、作業が各々の専門性を活かした保健学研究科の地域貢献事業として地域に広くアピールできる。

④ 企画・実施プロセスを通じ、保健学研究科、群馬県、市町村、住民組織との間で地域保健のニーズを共有し、今後の協働に向けてネットワークを構築できる